



いっぱい踊っていっぱい笑った 白鷹陽光学園夏祭り

7月30日、白鷹陽光学園で16回目の夏祭りが開催されました。地域住民の間では夏の風物詩となりつつある花火大会では、例年よりも100発多い300発の花火が打ち上げられ、来場者や近隣のかたを楽しませてくれました。また、中学生や高校生をはじめ、さまざまな団体から100人を超えるボランティアが協力し、模擬店のお手伝いや園生と一緒に踊ったりと、思い思いにお祭りを楽しんでいました。



生活になくってはならない水はどこから？ 鮎貝小学校水利施設巡り

7月15日、鮎貝小学校の4年生27人が、社会科の授業で黒鴨地内の鮎貝堰幹線水路や、頭首工、排水機場などの農業水利施設を見学し、その役割や地域の歴史などを学びました。排水機場にある、船と同じエンジンをもつというポンプが動き出すと、子どもたちはその音の大きさに思わず耳をふさいでいました。鮎貝小学校では、今回の水利施設などの学習を経て、5年生になると「田んぼの学校」で田植えを行います。



タバコって体にわるいんだね！ 荒砥高校生が保育園児に防煙教育

7月21日、よつば保育園で荒砥高校禁煙サポーターによる防煙教育が行われました。荒砥高校の保健委員12人が、4・5歳児の36人を対象に、寸劇などでタバコが体に与える影響やタバコの煙から逃れるにはどうしたらよいかという説明をしました。子どもたちは最後まで真剣に聞いて理解を深め、家に帰ってお父さんやおじいちゃんにお話すると約束していました。この事業はこぐわ保育園に続き2回目です。



実演でより分かりやすく 荒砥高校認知症講座

7月11日、荒砥高校で認知症講座が行われました。認知症高齢者見守りネットワークのメンバーが「ご飯の食べ忘れ」「財布の置き忘れ」「徘徊」の3つの寸劇を演じ、それぞれ対処法の良い例と悪い例の2つが披露されました。その後「認知症って何？」という演題で、吉川記念病院の院長先生から専門的な話などもお聞きしました。今後、福祉施設などでのボランティア活動に活かしていただきたいと思います。



山形県知事感謝状
7月14日、山形国際交流ブラザで第47回献血運動推進大会が開催され、白鷹ライオンズクラブ（佐藤哲夫会長）が、献血功労団体として山形県知事から感謝状を贈呈されました。



厚生労働大臣特別表彰
時田進さん（浅立）は、平成6年6月から22年11月まで、民生委員として高齢者の地域交流活動を促し、障害者との交流機会を設けるなど、先導的役割を果たされました。この間、町会長や長井・西置賜民児協会会長として地域福祉向上に尽力されました。